

1 公益財団法人東北自治研修所

1 基本情報

所在地	富谷市成田二丁目22番地1			代表者	代表理事 大森 克之	
電話	022-351-5771	ファックス	022-351-5773	ホームページ	http://www.thk-jc.or.jp/thk-index.htm	
設立	昭和39年3月24日	改革分類	自立支援団体	県担当課	総務部 人事課	
出資等の状況	第1位	東北自治研修所 (99.3%)	第2位	宮城県 (0.1%)	第3位	東北5県 (0.6%)
		39,700 千円		50 千円		250 千円
設立目的 (定款等)	東北地方の地方公共団体に勤務する職員の資質と能力を向上し、地方行政の円滑な運営を図り、もって東北地方の発展に資する。				出資等総額	40,000 千円 (100.0%)

2 主な事業内容

	事業名	事業費 (単位:千円)			事業内容
		27年度	28年度	29年度	
事業1	施設管理事業	125,009	120,213	124,024	東北自治総合研修センター(寄宿舎「青葉寮」を除く)の管理
	全体事業に占める割合	62.0%	61.5%	61.3%	
事業2	寄宿舎管理事業	44,501	41,550	44,763	寄宿舎「青葉寮」の管理
	全体事業に占める割合	22.1%	21.2%	22.1%	
事業3	研修等事業	32,116	33,813	33,599	中堅職員研修等の実施、研究会の開催、機関誌の発行、財団事業の啓発
	全体事業に占める割合	15.9%	17.3%	16.6%	
その他の事業					
	全体事業に占める割合				
全体事業費		201,626	195,576	202,386	指定管理者
全体割合		100.0%	100.0%	100.0%	

3 評価

(1) 団体の使命・役割

現在の団体としての公益的使命・役割・目標	県が期待する団体の役割(県施策との関連等)
東北各県が実施する研修の先導的な役割を担うこと等を基本に、各県では対応しにくい長期研修、指導者養成研修、研修内容や研修技法についての研究事業等を実施すること。 東北自治総合研修センター施設全体の管理運営を委託されている。	県の公務研修所が入所する東北自治総合研修センター施設全体の管理運営を担うとともに、本県が行う研修の先導的な役割を担う機関である。また、研修内容や研修技法等の研究事業を実施するなど、研修企画者・研修指導者の養成について期待されるところが大きい。

(2) (1)に対する団体の自己評価及び県の所見(29年度)

団体による自己評価	県(主務課)の所見
長期研修や指導者養成研修等を実施し、各団体の中核を担う人材367人(前年度比24人増)を育成することができた。 施設運営についても、研修生等の要望を受け、予算の範囲内で暖房時間の延長等を行い、研修環境の改善を図った。	県では対応しにくい長期研修や指導者養成研修などを実施しており、本県でもこれまでに多くの職員を派遣してきた。また、施設全体の管理運営についても限られた財源の中で適切に行っている。

(3) 団体に対する総合評価(29年度)

項目	団体による自己評価	県(主務課)の所見	参考指標
イ 組織運営の健全性 ※1	各種規程の整備や事業内容等の公表は良好な状態であるが、コンプライアンスに関する取組については該当項目が少ない状況にある。このため今後、情報収集を行うとともに必要な対応を順次行うよう検討を進めて行く。	組織統制に関する規程の整備や事業内容等の公表など基本的には適切な組織運営が行われているが、コンプライアンスに関するマニュアル等の整備が必要な状況ことから、県としても整備に向けた助言と指導等を行う。	B
ロ 財務の健全性 ※1	経費節減による費用減により、正味財産比率などの財務状況の改善が図られ基盤安定性等が良好化された。一方で、経常費用の増加により負担金が増加し「補助金等依存の抑制」の配点が低くなっていることから、運営管理費の節減に努力しつつ、効率的な研修が実施できるよう事業を推進していく。	経費節減等の取組により正味財産比率や流動比率などの財務状況の改善が図られたことは評価できる。今後は自立性の高い法人運営の実現を目指し、さらなる研修生の確保や施設利用拡大を促進していく必要がある。	B
(2)及び上記イ・ロを踏まえた総合評価・今後の方向性と課題	当財団設立の社会的要請は現在もあり、経営状況も良好化している。施設設備等の老朽化対応も見据えながら更なる経営改善に向け、研修事業のさらなる充実等に努め、研修生の確保に努めていく。	全体を通じて概ね良好であり、改善計画への取組も十分効果があった。今後はコンプライアンスに関するマニュアル等の整備を進めるほか、引き続き、施設整備の老朽化対策を実施しながら、さらなる研修生の確保や施設利用拡大を促進できるよう必要な助言等を行っていく。	総合評価 B

※1 上記イ及びロにおける「団体による自己評価」「県(主務課)の所見」及び「参考指標」は、それぞれの項目に係る経営評価指標に基づき記載しているもの。

4 経営状況（単位：千円）

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	増減(29-28)
貸借対照表	資産合計	139,281	131,635	132,031	396
	流動資産	63,151	66,048	62,711	△ 3,337
	固定資産	76,130	65,587	69,320	3,733
	うち基本財産	40,000	40,000	40,000	0
	負債合計	22,267	27,717	25,901	△ 1,816
	流動負債	15,962	20,698	17,916	△ 2,782
	固定負債	6,305	7,019	7,985	966
	うち長期借入金	0	0	0	0
	正味財産合計	117,015	103,918	106,130	2,212
	指定正味財産	0	0	0	0
一般正味財産	117,015	103,918	106,130	2,212	
正味財産増減計算書	経常収益	191,897	182,683	185,224	2,541
	うち事業収益	149,957	140,816	143,343	2,527
	経常費用	180,188	176,915	183,012	6,097
	うち管理費	8,537	9,231	9,230	△ 1
	評価損益等調整前当期経常増減額	11,709	5,768	2,212	△ 3,556
	当期経常増減額	11,709	5,768	2,212	△ 3,556
	経常外収益	0	0	0	0
	経常外費用	378	18,864	0	△ 18,864
	当期経常外増減額	△ 378	△ 18,864	0	18,864
	当期一般正味財産増減額	11,330	△ 13,096	2,212	15,308
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
当期正味財産増減額	11,330	△ 13,096	2,212	15,308	
県の財政的関与	補助金	0	0	0	0
	委託金 ※2	0	0	0	0
	負担金	68,282	66,542	68,523	1,981
	補助金等合計	68,282	66,542	68,523	1,981
	総収入 ※3	191,897	182,683	185,224	2,541
	総収入に対する補助金等割合	35.6%	36.4%	37.0%	
	単年度貸付額	0	0	0	0
	年度末貸付金残高	0	0	0	0
	損失補償(債務保証)残高	0	0	0	0

※2 委託金：随意契約によるものが対象。指定管理者制度に係る管理委託料は、非公募により選定された場合が対象。
 （なお、非公募で指定管理者となった団体に利用料金収入がある場合は、利用料金収入を含めた額を計上している。）

※3 総収入＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額【正味財産増減計算書】

5 主な経営指標

評価項目	算式等	平成27年度	平成28年度	平成29年度	増減(29-28)
正味財産比率	正味財産合計÷資産合計(純資産)×100	84.0%	78.9%	80.4%	1.4%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	395.6%	319.1%	350.0%	30.9%
借入金依存度	(長期借入金＋短期借入金)÷資産合計(総資産)×100	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経常利益率	当期経常増減額÷経常収益×100	6.1%	3.2%	1.2%	-2.0%
管理費比率	管理費÷経常収益×100	4.4%	5.1%	5.0%	-0.1%

6 組織・役職員の状況

(人)

役職員の人数		平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (6月末現在)	29年度における 常勤役職員の状況	
役員	常勤 (うち県OB)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	常勤役員	
	非常勤 (うち県OB)	8 (0)	8 (0)	8 (0)	平均年齢	1名のため非公開
職員	常勤職員 (※4)	3	3	3	平均年収 (千円)	1名のため非公開
	プロパー職員	1	1	1		
	県OB	1	1	1	常勤職員(プロパー)	
	県派遣職員	1	1	1	平均年齢	1名のため非公開
	その他の派遣職員	0	0	0	平均年収 (千円)	1名のため非公開
	上記以外の職員(※5)	4	4	5		

※4 常勤職員：プロパー職員、県派遣・県OB、その他の派遣職員(県以外の自治体、民間企業等)を指すもの。

※5 上記以外の職員：任期付職員、契約社員、嘱託、非常勤職員、臨時職員及びパート・アルバイト等、常勤職員に該当しない職員の合計を指すもの。